

あるイギリス留学生の日本企業研修日誌

—九州電力株式会社（北九州支店）での体験記—

山 崎 勇 治
(経済学部 経済学科)

1. はじめに

九州電力株式会社北九州市支店で企業研修を受けた英国ウエールズ大学カーディフ校のある留学生Aさんの企業研修日誌を紹介する。彼女は、1997年10月から98年8月まで本学に留学した学生である。

カーディフ大学の学生を北九州市立大学が短期留学として引き受けて20年が経つ。その当時、2度に渡る石油危機を克服し、世界第2位の経済大国となった日本経済は、世界から驚嘆のまなざしで見られていた。日本の経営ワンダフル論が一世を風靡していたその当時、インフレ、不況、高失業、国際収支赤字の「イギリス病」に悩むサッチャー首相は、日本的経営を1つのモデルとして経済の再建を図ろうとしたたことで有名であった。

20年が経過した現在、「イギリス病」と揶揄されたイギリス経済は立ち直り、「ワンダフル日本」と賞賛された日本経済は「失われた10年」が過ぎ、いまや「失われた20年」がささやかれている。

一体この20年間に何が起こったのか。これを探るために、カーディフ大学生が企業研修の際に、書いた貴重な研修日誌を紹介したい。

果たして日本的経営は非効率で良くないのか。日本企業の実態を知る機会の無い私たちにとって、カーディフ大学の学生が体験した企業研修を紹介することは、この問題を解明するための好材料を提供してくれることになると思えるからである。

企業研修日誌の紹介の前に、まず、なぜ英国カーディフ大学せいが北九州市立大学に来て、企業研修を受けるようになったのかを説明しておこう。それはマーガレット・サッチャーの政策にあった。即ち、実学を重んじるサッチャー首相は、大学改革を断行して、実学を奨励した。カーディフ大学経済学部はビジネススクールの充実を図る一方で、日本での企業研修を体験す

る学部を新設した。すなわち、カーディフ大学「ビジネス+日本語コース」の学生は、1-2年で日本語を学んだ後、日本の大学に1年間留学する。その1年間の間の4月から6月まで、日本企業で研修をして生産管理、品質管理、販売管理、労務管理などいわゆる日本の経営を実体験するというユニークなコースを新設したのである。それは世界でも例のないコースであった。

なぜ北九州市立大学を選んだのか。それにはいくつかの理由があった。第1に、情報入手が早かった。その当時私は「カーディフ炭」の史的展開を研究テーマとしていた関係でカーディフ大学と関係があったからである。第2に、当時の学長が熱心であった。本学は国際交流がスタートしたばかりであり、欧米系の大学との交流を望んでいたからである。第3に、事務職員の束ね役の教務課長が本気であった。第4に北九州市が全面的にバックアップしてくれ、TOTO、安川電機、井筒屋、福岡銀行、九州松下など錚々たる企業がカーディフ大学生の引き受ける約束をしてくれたからであった。その結果、全国数多の候補大学の中で最終的には本学がカーディフ大から指名されることとなった。

それ以来、20年間の間に100名の学生が本学に留学して、安川電機株式会社、TOTO株式会社、井筒屋株式会社、九州松下株式会社、福岡銀行、朝日新聞西部本社、毎日新聞西部本社、山九運輸株式会社、西部沢井、タカギ株式会社、サッポロビール株式会社九州工場、NTT西日本株式会社、九州電力株式会社北九州支店などで3ヶ月間の企業研修を受けている。

2. Aさんの企業研修日誌

4月1日（水）業務日誌

今日の朝には心配しましたが、みんなはとても親切です。最初に支店長に会いました。そして労務課の人の名前を教えてくださいました。10時に九州電力の入社式を見ました。その後で、九州電力について読みました。九州電力はイギリスの電気の会社より大きいですが、両方は環境問題をよく考えています。その上に両方は電気を作るために水と火を使います。一番驚いたのは九州電力がイギリスのスコッティッシュパワーと一緒にエクステーンズの研究することです。昼食後で野下さんが九州電力の説明をしました。電気について分かるようになりました。そして次の三ヶ月間のスケジュールを論じました。

この九州電力にいる間を楽しみにしています。

指導者欄

これから3ヶ月間、日本の企業、九州電力のことについて、いろいろなことを勉強して下さい。

できるかぎりのバックアップをしていきたいと思います。

課長脇山

4月2日（木）業務日誌

今日は最初に野下副長が日本の会社を説明しました。日本の会社とイギリスの会社を比べました。この国の会社はとても違います。私はこの違いのリストを書きました。今から他の違いを習うとリストに書きます。その後で脇山課長と久保田副長が九州電力を説明しました。労務課と労働時間を説明しました。日本とイギリスの労働時間を比べました。あまり変わりませんが日本ではイギリスより休日が多いです。そして九州電力のゆとり運動について習いました。私はイギリスの会社で働いたことがありませんが、労働時間と給料を比べるのは難しいです。九州電力にいる間、日本の会社について勉強したいです。そして日本語が上手になりたいです。たぶん将来は日本の会社で働きたいですが、まだ決めていません。

指導者欄

いろいろな点に興味をもって、分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

4月3日（金）業務日誌

今日の午前中、漢字の勉強をしました。安全衛生の小冊子を読んで、辞書で漢字の意味調べました。そして野下副長が日本の会社をもう少し説明しました。日本では会社員がよく課を異動しますがイギリスでは労働者がよく会社を変えます。そして日本では新しい会社に入ると一般職になりますが、イギリスでは経験があれば新しい会社に入ると管理職になることが出来ます。その後で新しい辞書を買に行きました。2時半に加藤課長が北九州市と九州電力についていろいろな事を説明しました。北九州市の産業とプロジェクトと九州電力の業務について話しました。とても面白かったです。

指導者欄

日本の電力会社は、地域社会の産業、経済と大きく関わっています。イギリスではどうですか。

課長脇山

4月6日（月）業務日誌

今日また朝から漢字を勉強しました。そして江藤さんが九州電力の就業規則について教えてくださいました。江藤さんが労働時間や地方祭や休暇や女性の規則や給料などについて話しまし

た。今だいたい九州電力の社員は1年間に239日働きます。その上に例えば結婚すれば特別な休暇を取ることが出来ます。昼に新しい辞書を二冊と自分の名刺をもらいました。初めて自分の名刺を持ちました。とても幸せでした。午後、漢字を勉強するために新しい辞書を使いました。そして久保さんと公共職業安定所に行きました。人が多かったので1時間かかりました。

指導者欄

4月7日（火）業務日誌

午前中また漢字の勉強をしました。たくさん便利な言葉を習いましたが時間が掛かりました。その上に漢字を覚えるのは難しいと思います。昼食の後で久保さんが九州電力の社員の給料について教えてくれました。給料の支給と控除を説明したり、補助と貯金について話したりしました。日本では、病院に行くのは高いですから、健康保険はイギリスよりとても大切です。そして、九州電力が通勤費の料金を払うのは驚きました。もう一つは、イギリスでは社宅か寮に住んでいるのは珍しいです。その後で石丸課長が安全衛生のクイズの答えを説明しました。たいてい分かりましたが、三つの質問を間違えました。

指導者欄

給与については、1時間程説明をしましたが、賃金の内容と通勤費、旅費、保険料と主な部分をだいたい理解してもらえたと思います。

担当川野

九州電力での研修がスタートして1週間がたちましたが、どういう印象をもちましたか？

脇山課長

4月8日（水）業務日誌

頭が痛いです！今日の午前中と午後に野下副長が温水器を長く説明してくれました。最初はあまり分かりませんでしたがだんだん分かるようになりました。しかし、日本語で説明するのは難しいです。九州では15時くらいが電気を使うピークです。深夜はお昼ほど電気をあまり使いません。そのピークに合わせてなければなりませんし、電気は貯められませんから、深夜の電気が無駄になります。温水器は夜に電気を作って、水を沸かします。そして次の日にその湯が使えます。その上、温水器を使えば料金が安くなりますが、最初、購入する時は、温水器は高いです。今まで全部の説明がだいたい分かりました。皆さんは親切で簡単な日本語で話します。

指導者欄

深夜電力の利用は、電力会社の大きな経営課題です。電気を安く、お客さまに提供できるよう、社員は、電気温水器の長所と短所を勉強し、販売活動に取り組んでいます。

担当西村

難しい話ばかりで、大変ですけど頑張って下さい。

4月9日（木）業務日誌

今日舟木さんが福祉について教えてくれました。色々な事について話をしました。例えば会社の貸付金や寮や文化やスポーツや保険などの説明をしました。社員の健康と社員のコミュニケーションのために九州電力が色々な事を支援します。福祉の活動予算にお金をあげます。そしてスポーツの施設を持っています。社員はスポーツをしたかったら、予算にお金があれば、もらいます。イギリスの会社はこのような支援はほとんどしません。その上に、法律でみんなは1年に1回健康診断に行かなければなりません。イギリスでは病気になったときだけ病院に行きます。日本の会社はよく社員の世話をすることに驚きました。イギリスではだいたい給料のみもらいます。

指導者欄

日本企業に特徴的な福利厚生の充実といった難しい話で、大変だったと思います。こういった機会を利用して日本の企業のことをもっともっと勉強していただければと思います。

担当舟木

日本の社会福祉は不十分な面が多く、企業に期待されている点が多くあります。

課長脇山

4月10日（金）業務日誌

今日の最初は野下副長が九州電力の責任を説明しました。九州電力は独占のため九州に住んでいる人は必ず九州電力から電気を買います。だから九州電力の責任はいつも電気を供給することです。その後で川野さんが九州電力の教育について教えてくれました。毎年4月1日に新入社員は会社に入社して研修します。みなさんはこの研修をするために福岡の社員研修所に行きます。事務をする新入社員は3週間研修を受けます。他の新入社員には6カ月間研修を受ける人もいます。そして、仕事が始まります。午後、西村さんがもう少し研修について話しまし

た。九州電力では必須型研修と任意型研修があります。任意型研修をすれば、会社が後援します。最後に家族ファックスを送りました。

指導者欄

九州電力は「人材」の企業理念達成が原動力であると考え、社員を教育することをとても重要だと考えています。社員はふつう60才まで働き続けるので、教育の成果は、社員本人だけでなく会社にとっても非常に大きいと思います。

担当川野

イギリスでは、社員教育は、どういうことをやっているか、もしわかれば教えて下さい。

課長脇山

4月13日（月）業務日誌

今日の午前中、西村さんが人事の説明をしました。西村さんの仕事内容は人事異動です。九州電力ではよく人事異動します。人事異動のサイクルは4年～5年を目安にしています。理由は二つあります。一つは40年間同じ所で働くのはつまらなくなる事です。もう一つは社員の能力を開発するために色々な所で働かせます。新入社員は、会社に入るとまだどこで仕事出来るのか分かりませんが異動すればだんだん好きな所を分かるようになります。その他に西村さんが人事考課と本人申告書と賞罰について話をしました。イギリスの会社では本人申告書はないと思います。午後、また漢字を勉強して脇山課長にチェックしてもらいました。最後に脇山課長と日本の会社とイギリスの会社を少し比べました。

指導者欄

人事異動（転勤）は社員に意欲を持たせ、能力を開発（育成）するために行います。また、人事異動を行うためには、人事考課と本人申告書が重要な情報源となります。

担当西村

日本とイギリスでは会社のシステムに大きな違いがあると思います。その違いを勉強して下さい。

課長脇山

4月14日（火）業務日誌

今日の午前中、吉永副長が安全衛生について話をしました。九州電力には安全衛生会議があります。中央会議には1年間に4回集めて、職場会議は1カ月間に1回集めて、社員の安全衛生を討論します。毎年、九州電力の社員の16人くらいが事故に遭うため、社員は安全衛生ゼミナールと運転ゼミナールに参加します。衛生のために九州電力では医者と精神科医と保健医がいます。北九州支店では保健婦が6人います。その上に九州電力は福岡大学病院と他の病院で136と契約しています。最後に労務課の会議に参加しましたがぜんぜん分かりませんでした。しかし、この3カ月間で分かるようになりたいです。

指導者欄

日本企業では、会議を開催して意思決定をすることが多いという特徴があります。イギリスではどうでしょうか。九州電力は、社員の健康管理のためにいろいろな組織を編成しております。担当舟木

日本では、法律によって企業の安全・健康管理体制づくりが義務づけられています。イギリスではどうですか？

課長脇山

4月15日（水）業務日誌

今日、午前中健康診断を見に行きました。日本では法律でみなさんは1年間に1回健康診断をしなければなりません。午後、エネルギー利用効率課に行って、市田課長と井上副長がエネルギー利用効率を説明しました。今は、電気を使う最大量と最小量の格差はだんだんと大きくなるため、エネルギー利用効率課ボトムアップとピークシフトをすることに努力しています。ボトムアップするために、電気温水器を売ります。ピークシフトするために蓄熱システムを促進しています。これは夜の電気を使いますから、ボトムアップとピークシフトができます。その上、電気温水器は安全で、15年間くらい使えて、騒音と臭いがなくて料金は安くなるためとても便利です。今日はたくさん学びました。

指導者欄

イギリスではエネルギーを輸出していますが、日本はエネルギーのほとんどを輸入に頼っています。そのため、エネルギーの有効活用には最大の努力を行っています。

課長脇山

4月16日（木）業務日誌

今日もたくさん習いました。エネルギー利用効率課の小倉さんが調理台とオール電化住宅の説明をしました。電気調理台とオール電化住宅はメリットがたくさんあります。安全で、人と環境に優しく、経済的で、エコです。調理台を買えば、値段は高いですが、電気代は安くなります。そして、オール電化住宅に住めば、1年間に7万2千円を貯めることが出来ます。その後、小倉さんが時間帯別電灯契約について話をしました。これをすれば、電気代は安くなります。午後、山浦課長が蓄熱の説明をしました。このシステムは日本語でも分かりにくいですが図表がたくさんあったため、だいたい分かりました。例えば、大きいプールがあります。システムは夜に水を温めて、氷を作ってプールに出します。昼間に建物を温めて、冷やすためにお湯または氷が回ります。このシステムは工場でも使えます。

4月17日（金）業務日誌

今日の午前中、黒崎のプリンスホテルに行って展示会を見ました。色々な会社が新製品を展示していました。そして、九州電力は、電気温水器と電気調理器を展示していて、15分間の劇も上演していました。午後は、片岡課長と上田さんと一緒に北九州科学センターに行きました。そして、蓄熱式ヒートポンプシステムを見ました。最初は解りにくかったのですが、説明された後で解るようになりました。そして、ここでは氷・潜熱蓄熱式ヒートアップシステムを使用していることが解りました。その後でこのセンターの中を見学させていただきました。今日1日でたくさんの電気エネルギーの利用法を知ることが出来ました。

指導者欄

3日間のエネ効課の研修おつかれさまでした。日本での電気の使われ方について、そのために九州電力は、何をしようとしているかをわかっていただけたと思います。この3日間のうちの少しでもあなたの記憶に残してください。

担当小倉

国によって、色々なエネルギー政策が検討されています。特に資源も持たない国においては小資源を有効に活用するように努力しています。諸外国と比較し、勉強して下さい。

副長井上

3日間の研修おつかれさまでした。専門用語が多く理解しにくかったと思います。イギリスのエネルギー情勢と比べてみて下さい。

課長市田

4月20日（月）業務日誌

今日は他の課に行って勉強しました。午前中、広報課の高田課長が広報課の仕事を説明してくれました。広報課は4人だけですが、仕事は大切です。日本人はだいたい原子力は危険だと思っています。しかし、原子力のメリットは三つあります。電気を作るのは石炭と石油より安くて、ウランが少しだけ必要でCO2を少しだけ作ります。だから、広報課は原子力を進めています。九州電力は原子力発電所を増やしたいから、世評はとても大切です。午後は読売新聞社に行きました。初めて見ましたからとても面白くて音が大きかったです。読売新聞社の中堀部長が説明してくれました。最後に英語で書いた新聞をもらいました。

4月21日（火）業務日誌

今日、午前中また広報課に行って、高田課長が広報課の仕事について話しました。九州電力は使命が三つあります。一つは停電をしないことです。二つ目はお客様に電気を供給することです。三つ目は電気代が安くなることです。電気代を安くするために色々な事をしていますが九州電力は電気定価を変えたかったら、絶対MITIにお願いをしなければなりません。その他に、広報課はマスメディアの効果的活用をします。記者と関係します。そして、停電があれば、ニュースでお客様にご案内します。最後に広報課は九州では文化を発展します。コンサートを組織したり、劇を組織したり、九州電力の社員は北九州の祭りに参加したりします。広報課はとても面白かったです。

指導者欄

わずか1日半の研修でしたが、広報課の業務についてご理解いただけたでしょうか。どのような企業にも、自社の活動を外へ向かってPRしていく広報部門というのはあると思われますが、アマンダさんの今後の進路の参考となれば幸いです。

4月23日（木）業務日誌

今日はとても面白かったです。午前はバスに乗って、新小倉発電所に行きました。発電所の説明をしてくれました。その後で発電所の設備を見に行きました。これは英語でも解りにくいですが簡単に新小倉発電所で天然ガスを焼いて蒸気を作ります。この蒸気はタービンを動かします。そして、タービンは発電機を動かして、発電機は電気を作ります。新小倉ではユニットが五つあります。午後は若林さんと苅田発電所に行きました。今、苅田では石油を使うユニッ

トが一つあります。そして太陽光発電もありますがちょっと古くて能率的ではありません。苅田では今、加圧流動床複合発電プラントを作っています。このプラントは世界では一番大きいです。私は見に行った時は大きさに驚きました。

指導者欄

当日は雨天の為、光量が足らず、太陽光発電量はほぼ0に等しかったため、アマンダさんには能率的(?)には見えなかったのでしょうか？天気が良ければ効率的に発電しますよ。PFBCは、大きいコンパクトな点に私も驚きました。

担当若林

4月24日（金）業務日誌

今日また新小倉発電所に行って、木庭課長が発電所の組織と主要業務を説明してくれました。その後で中央制御室に行って、設備のテストを見ました。天然ガスのバーナーの中はテレビがあります。バーナーの中は暑いので、テレビはファンが必要です。このファンの自動起動のテストも見ました。午後は若林さんと北九州エル・エヌ・ジーに行って、大きいエル・エヌ・ジーの船に乗りました。1か月間に二回くらいインドネシアからエル・エヌ・ジーを持っている船が北九州エル・エヌ・ジーに行きます。エル・エヌ・ジーを輸送するために天然ガスをマイナス160℃まで冷却して、タンカーで供給します。タンカーの労働者はアメリカ人だったので、全部分かりました。タンカーの全体を見て、説明してもらいました。

5月11日（月）業務日誌

今日は変電課に行きました。午前中、古川副長が変電課の仕事と変電所の設備を説明してくれました。変電課は系列が二つあります。一つは設備の工事で、二つ目は変電所の管理です。そして、北九州は三つの地域に分けています。小倉と八幡と飯塚です。この地域の変電課は設備の状態と事故を管理しています。しかし、小倉は大きいですから二つの地域に分けて、工務所は南の方を管理しています。午後は北九州変電所に行って見学しました。この変電所の設備は全部外ですが、制御室とコンピュータはビルの中です。北九州変電所は500kvを220kvに変換します。ここには労働者がいますが、もっと小さい変電所は遠隔常時監視をしています。変電所は初めてですからとても面白かったです。明日が楽しみです。

5月12日（火）業務日誌

今日また変電課で勉強しました。午前中、古川副長が変電所の設備を説明してくれました。

設備の基本の作用と変圧器と遮断器と断路器と避雷器と母線を説明してくれました。私は高校で物理学が全然分かりませんでしたので少し解りにくかったですが、基本の原則は解りました。変圧器はとても大切です。これは電圧を例えば、500kvを220kvに変圧します。遮断器は事故があれば電力を遮断することが出来ます。雷が送電線に落ちると変圧器を壊すので避雷器は雷の電力を地面に逃がします。午後は通谷と上津役変電所に行って見学しました。通谷は電圧を66kvから6kvに変圧します。上津役では八幡の変電所を20箇所管理します。通谷は住宅街に出来ました。全設備は建物の中です。

5月13日（水）業務日誌

今日、午前中また変電課で勉強しました。古川副長が変電課の問題を説明してくれました。住宅街に変電所を作りたい時は周辺の人達に了解を得るのはとても難しいです。ほとんどの人が変電所は危険で景観が良くないと思っています。実は、安全で外見からは変電所であると判断できません。もう一つの問題は、コスト低減です。今は日本の電気料金は海外に比べると高いです。だから九州電力は2001年までに海外並みに下げたいです。変電所を作るのは高いですから変電課は気を付けます。勉強した後で原町にある現在工事している変電所を見に行きました。変電課でたくさん習いました。午後は送電課に行きました。送電線と鉄塔の設備と問題について勉強しました。雷はよく、送電線事故の原因となります。

指導者欄

一般の人には送電線と配電線の区別があまりつきません。今回の研修で送電線の役割について理解してもらえば十分です。

副長渡辺

5月15日（金）業務日誌

今日も送電課について勉強しました。渡辺副長が送電線と鉄塔を説明してくれました。そして鉄塔の建設のビデオを見ました。鉄塔を建設するのはだいたい3年間から5年間くらいかかります。1年間に九州電力の会社の送電線と建設を持続するのは200億円かかります。巡視の方法は4つあります。3か月に1回普通巡視をしたり、1週間に1回車で特定巡視したり、非常巡視したりします。午後は色々な送電線を見に行きました。最初は門司に行って66kvと500kvの送電線を見ました。500kvの送電線は本州にあります。そして、苅田でも送電線を見ました。今、苅田では新しい送電線を作っています。時々、空地がなければ、送電線は土地の中に置いています。

指導者欄

送電線は、建設するのも大変ですが、建設した送電線が役割を十分果たせるようにメンテナンスしていくことが送電課の重要な仕事であり、それによってお客さまが安定した電気を使えることを理解して下さい。

副長渡辺

5月18日（月）業務日誌

今日は電力課に行って、電力課の制御と給電と系統保護装置について勉強しました。電力課は変電所と送電線を制御関係の業務を計画します。北九州支店のビルに総合制御所があります。この制御所では一次変電所から、22万ボルト以下の送電線で送る電気を制御します。ここでは無人の変電所にメッセージを送ったり、電力と電圧を制御したり、事故があれば遮断器をつけたりします。そして、気象情報システムと雷観測システムもあります。午後は西谷変電所に行きました。電力課は変電所の継電器も管理します。変電所で設備と継電器と社員の教育の設備を見ました。今日は少し分かりにくかったですが、明日また勉強して、分かるようになると思います。

指導者欄

当社の幅広い業務の中の1つですがかなり専門的だったため理解に苦しんだと思われます。何か1つでも記憶に残っていれば幸いです。

担当大和

研修内容がむずかし過ぎて、理解しにくかったと思います。電気の大切さを認識し電気を上手に使い省エネに努めて下さい。

副長関

5/18~20

短い時間に良く勉強し理解していると思います。興味を持つことが大切です。これからも頑張ってください。

課長中原

5月19日（火）業務日誌

今日の午前中はまた電力課で勉強しました。電力課の計画の話の話を聞きました。計画する人は変電所と送電線を計画します。この仕事の問題点は二つあります。一つは日本の土地が狭いこ

とです。変電所と鉄塔を工事する場所は少ないです。もう一つは、住宅街の人が家の近くに設備を作ってほしくないことです。送電線を一キロ作るのは1億円かかります。変電所を全部計画するのは5年間くらいかかります。午後は春武さんが供給信頼度について話をしてくれました。電力系統が事故にあえば、電気を別のルートで送りますが、これをするために設備が必要です。そのため、値段が高いです。その後はビルの総合制御所と地下室の発電機と屋根のアンテナを見に行きました。発電機は電気が止まったら使います。そして、アンテナは総合制御所のメッセージを変電所に送ります。

指導者欄

技術的な話が多かったのですが、多くの日本人と接し、日本を好きになっていただきたい。

担当春武

説明に専門用語が多く理解に苦労したのではないかと反省しています。日本での勉強が母国で何かの役に立てば良いと思います。

副長藤村

5月20日（水）業務日誌

今日の午前中また電力課に行って勉強しました。電力課で需給の話を聞きました。九州電力は毎日お客さまの需要に電気を必ず供給しなければなりません。これをするために色々な発電所があります。水力、原子力、地熱発電所は24時間同じレベルで電気を作ります。揚水と火力発電所は昼間、需要が増えると、供給が増えます。午後は、操業制御所に行きました。ここから北九州の無人の変電所と送電線を制御します。例えば、送電線を補修する時は、制御所は止まります。5月に、需要は低いですから、工事をたくさんします。だから制御所は朝と夜は忙しいです。ここから事故があれば電気を止めることも出来ます。

指導者欄

技術部門は難しい専門用語が多く出てくるので話を聞くだけでも大変だと思います。アマンダの日本語は聞く、話す、どちらも上手で大変驚いています。

副長北島

今日は、総制初日でしたので、電力を安全に送るという仕事について概要説明を行いました。適宜イギリスの生活と日本の生活との違いなどについて情報交換したりしながら相互理解をは

かりました。日本語も上手で、総制業務というややわかりにくい内容でも大丈夫と感じました。

5月21日（木）業務日誌

今日また総合制御所で勉強しました。午前中の最初は制御所の当直引継を見ました。その後、原田所長が電気事故の説明をしてくれました。電気事故の原因が色々ありますが、雷はよく落ちますから、一番大きい問題です。だいたい雷は鉄塔に落ちると電気は鉄塔を流れて地面に行きます。しかし、時々電気は鉄塔や送電線まで跳んで送電線を流れて遮断機はセンサーで大電気を見て、自動的に電気を止めます。外の原因は鳥や人間やクレーンや台風です。送電線は強いですから、台風が来れば、鉄塔を倒します。午後は総制訓練シミュレータ室で制御のトレーニングを見ました。あの部屋でも、大きい事故があれば非常災害対策本部でどうするか決めたり、社員と新聞記者に情報を提供したりします。今日はとても面白かったです。

指導者欄

この業務日誌を見て、漢字が多いことに驚いています。日本語を専攻したのも何かの縁ですから、さらに実践を踏んで頑張ってください。

副長北島

今日は、電力を安全に送るという電力会社の基本技術のひとつを理解するために、停電現象について基礎的なことをじっくり勉強しました。基礎がかなり理解できたようで、シミュレータ訓練も非常に興味を持ち、知識も向上しました。有意義な1日でした。

所長原田

5月22日（金）業務日誌

今日も総合制御所に行って、勉強しました。今日は一日中見学しました。門司地区の変電所を回りました。原町、門司、錦町、大里、めかり、今津、新大里開閉所、小野田化学、JR西日本新門司変電所を見に行きました。JRの変電所は新幹線に電力を供給するため、22万ボルトの変電所です。また、門司地区の送電線をたどって行くと関門海峡を渡り中国地方に行っていることが分かりました。関門トンネルで下関市に行って、ゆめタワーに登りました。ゆめタワーから北九州の街を見ました。大きな鉄塔で電気が九州地方から中国地方へとつながっているところを実際に見ることができて感動しました。

指導者欄

今日は、今まで机上で学習したことを目で確認するために現場に出ました。現場学習は各課所でも実施していますが、運用サイドである総制から見た見学なので、いろいろと勉強になったと思います。

副長北島

電気の基本について、理解が進んだあとの見学であったため、実際のごく普通の送変電設備を多く見て、電力会社の系統運用の理解が深まったようでした。3日間、意欲を持って勉強しており、好感が持てました。

所長原田

5月25日（月）業務日誌

今日は配電課に行きました。午前中、配電課の説明を聞きました。配電課は係が三つあります。管理系列の天津副長と技術系列の佐田副長と計画系列の安詮院副長が説明してくれました。この係は配電線と電柱の管理と維持、及び工事の計画をしています。例えば、電柱番号を設定したり、高低圧電圧負荷管理をしたり、電圧調整をしたりします。午後は先の浜に行って、配電線のロボットを見ました。最初はフェーズ2の説明を聞いて、キャビンに入ってロボットを使いました。そして、フェーズ1に乗って、上の方に行き、碍子の変更を見ました。その後は、私がロボットのジョイスティックを使いながら、テーブルの上から缶を取りました。このロボットを使うと、危険な仕事は安全になります。その上に、ホットステックより時間がかかりません。だから、とても便利です。

指導者欄

まずは九州電力の日本の電気事業における位置づけとして、設備、収益、発電量等の指標、当社の供給エリアを説明し、次に「企業は人なり」というところから社内研修、教育の概要、支店と営業所組織を説明しました。人・物・金・情報面での英国との比較をすると新たな発見があると思います。

副長天津

今回の企業研修では、配電部門の業務概要、及び世界に誇れる新技術の一端として配電作業ロボットや自動制御システム等勉強してもらいました。現在、当社は欧州仕様のロボットを造るために技術供与を行っており、いずれイギリスでも配電課の作業にロボットが使われるだろう

と思っています。その時は、当社の企業研修であつかった配電作業ロボットを思い出して下さい。

副長佐田

研修内容が技術系の内容になってしまい、理解しづかったことと思います。配電部門においては、ロボット工法の他見学に行かれた総合自動化システム、導入初期にある総合機械化等新技術の開発に力を入れて取り組んでいます。経営環境が厳しい中、新技術の開発に対する意見は様々ありますが、このような状況であるからこそその必要ありと考えます。

副長安詮院

5月26日（火）業務日誌

今日は配電課の大津副長が前原営業所に連れて行きました。午前中、配電総合自動化システムと負荷集中制御システムのビデオを見ました。配電総合自動化システムは分かりにくいですが、目的は早く事故を切離して、他の線でお客さまに電気を送ります。午後は最初に負荷集中制御システムを見に行き、説明を聞きました。このシステムは今1200戸の実証試験をしています。400戸はロードサーベイだけです。後、400戸は間接負荷制御実施して、400戸は直接負荷制御実施します。試験は平成8年から平成11年までの7月から9月までの平日です。間接制御のお客さまはテレビで会社からお客さまのエアコンの入力は会社が制御します。みなさんはアンケートに答えて、会社が電気の使用をモニターします。

指導者欄

気象条件等からくる季節間、昼夜間の電気の使われ方の違いを平滑化（負荷平準化）することや、エネルギー自給率の低い日本特有のエネルギー事情に対するエネルギー利用の効率化が日本の電力会社の大きな課題となっています。その中であって、今回前原営業所で研修した負荷集中制御は日本のエネルギー問題を解決するための国家的プロジェクトとして位置づけられています。英文のパンフレットやビデオが手助けとなって難しい技術内容も少しは理解してもらえたかと思います。電気が少しは身近になりましたか。

副長大津

5月27日（水）業務日誌

今日の午前中また配電課で勉強しました。小倉営業所の三つの仕事は配電課の地図を作って、工事の材料を用意して、電線の管理をします。昔はこの仕事をそれぞれしましたが、最近

コンピュータを使って、一つの仕事になりました。昔は手で地図を書いたり、電話で材料を求めたりします。そして、配電司令室で配電線を制御しています。午後は営業課に行きました。ここではお客さまと契約したり、電気料金を受け取ったり、お客さまからの申し出を承ったりします。電気代を払うと、基本料金と使用量料金の合計を払います。毎月の基本料金は810円。そして、使用量料金は電気を使えば使うほど高くなります。

指導者欄

配電部門の研修は、専門用語や配電独特の概念が多く、日本語での説明がきちんと伝わったかどうか心配していましたが、ポイントは理解していただいたようでうれしく思います。

担当田中

どの程度興味を持って聴かれたか解りませんが、話（説明）よりも、図面管理システムや配電オンライン、自動制御システムを直接見る方が、良かったらしく目の輝いていたように思う。相互に言葉が通じないことで苦しい事を経験した。

課長宮川

2日半という短い時間の中で、専門外の技術の話ばかりで大変だったと思います。しかしながら日誌を見せてもらうとポイントを理解してもらっており、熱心に研修されたものと思います。これからはがんばって下さい。

課長畠山

住宅用の電気について、日本ではリミッター（電流制御器）を取付け、電気の流れる量を制限することと、そのリミッターの大きさにより基本料金をいただくことを説明しました。（イギリスにはないシステム）

担当林

営業課は、お客様と接することが多いため、お客様に失礼にならないようCS（Customer Satisfaction）運動に力を入れています。

副長近藤

1951年から日本の電力会社は9社（沖縄除く）の体制となっています。リミッターは5社（関西、中国、四国除く）で採用しています。これは、契約を守ってもらうとともに省エネにも役

立っています。また使うほど料金が高くなるのも省エネに十分役立っています。

課長奈良

5月29日（金）業務日誌

今日は小倉そごうの10階のイリスに行って、料理しました。午前中イリスの説明を聞きました。イリスの目的は会社のイメージを高揚する事です。イリスではクッキングスタジオとカルチャースタジオとライブラリーとギャラリーとパーティールームがあります。クッキングスタジオでは、女性が色々な料理コースをします。カルチャースタジオでは映画を見たり、ワープロ教室や七宝焼などを行ったりします。ギャラリーでは絵を陳列したり、ピアノの自動演奏を聞いたりします。午後は私が料理教室で料理しました。女性4人と一緒にフルーツケーキとフロランタンとパートゥフィューテとティラミスを作りました。食べたり、話したりしました。とても楽しかったです。

指導者欄

日本でも、イギリスと同じように、お客さまが電気を買う相手を選ぶことができる時代が間もなく来ると予想されます。その時、今までどおり、当社から電気を買っていただくためにも、お客さまに当社に対する良いイメージを持っていただくよう努める必要があります。

担当川原

イリスの活動もその一つです。地道な活動ですが、少しずつ効果が出てきていると思います。アマンダさんは当日の研修で、イリスの目的をよく理解されたと思います。又、料理教室で、同席した女性に、当社に対するイメージがイリスを利用する前と後でどう変わったかを聞くなど、積極的に研修に取り組まれているのを見て、好感が持てました。

副長二宮

イリスは当社の大事なPR施設です。クッキング、カルチャー等を通じ電気を身近に感じていただくとともに、その大切さもPRしています。

課長奈良

6月1日（月）業務日誌

今日は土木建築課の辛島副長と清田副長が仕事の説明をしてくれました。土木建築課は系列が二つあります。土木系列は変電所の周辺の壁の設計と巡視と補修を管理しています。そして、

山の中に変電所を作ると、山の土地を切り取る設計をします。建築系列は変電所の建物の計画と予算を作ります。契約は経理課が行います。この課は北九州支店の営業所の建物も設計します。午後は原町に行って、工事を見ました。その後は横代に行きました。今、横代では何もありませんが、変電所を作るつもりです。最後に北九州変電所に行って、土木の周辺の壁を見ました。

指導者欄

土木系列の仕事は少し分かって、もらえたようですね。

副長辛島

建築の系列は、建物の設計・工事管理と維持管理を行っています。

副長清田

6月2日（火）業務日誌

今日は土木建築課の辛島副長と清田副長が豊前発電所まで連れて行きました。豊前発電所の村上副長が発電所のツアーと説明をしてくれました。豊前発電所は火力発電です。建築系列の一つの仕事は建物の色を決めることです。それをするために周りの建物と地所の写真を撮って、5色配色モデルを見て、色を決めます。豊前の建物と煙突は空色と明るい緑です。午後は、また苅田発電所に行って、土木建築の設備の説明を聞いて、見に行きました。今、PFBCを作っているため、苅田発電所の土木建築課は忙しいです。計画に困って、前の廃止した設備を少し使って、新しい設備を作ります。

指導者欄

今日は、大雨で、発電所の見学は大変でしたね。又、土木設備を見る事ができなくて残念でした。

副長辛島

建物の色については、多くの人のいろいろな意見があります。その色を決める一つの手法として5色配色モデルを使います。豊前発電所や苅田発電所の色はどのように感じましたか。

副長清田

6月3日（水）業務日誌

今日の午前中、土木建築課の辛島副長と清田副長が八幡営業所まで連れて行きました。八幡営業所は北九州では一番新しい営業所です。去年の8月から使っています。建築系列の人達がこの建物の計画をしました。ビルの中は受付窓口や200V実演コーナーやコミュニティールームや事務室などがあります。新しい建物を作ると、社員は色々な意見があるため中の色を決めるのは難しいです。午後は電子通信課に行って、鶴田副長が仕事の説明をしてくれました。電子通信課は支店の通信を管理しています。信号を送る方法が色々ありますが、だいたい光ファイバーかマイクロ波か衛星を使います。マイクロ波で、無線機は事故の情報を送ります。社内のテレビとテレビ会議の信号は光ファイバーで送ります。

指導者欄

二日半お疲れ様でした。

副長辛島

土木建築課の仕事に興味がありましたら、また来て下さい。

副長清田

土木・建築という業務は電力会社でも3~4%の人員で構成しており一面では特殊な業務でわかりにくかったと思いますが、三日間見聞したことを少しでも今後に生かして下さい。

課長壬谷

電力会社の電子通信システムのうちマイクロ波無線と光ファイバー通信の概要は理解できたようですので、私も安心しました。

副長鶴田

専門技術的な内容で理解しにくかったと思いますが熱心に説明を聞いていました。

課長永田

6月4日（木）業務日誌

今日の午前中、電子通信課の仕事の内容を勉強しました。最初は九州電力の電話システムの説明を聞きました。その後はオンラインシステムを見ながら、説明を聞きました。オンラインシステムは会社の情報がたくさん入っています。そして、テレビ会議室を見に行きました。そ

の後で、8階の通信の設備を見に行き、6階の電子通信課コンピュータを見に行きました。午後は大野さんと一ノ宮さんが平尾台に連れて行きました。平尾台の山の上に中継所があります。あそこではパラボラは北九州と豊前から電波で情報をもらって、北九州か豊前までの情報を送ります。あそこは中継のみで、人はいません。だから、6階の電子通信課から制御します。

指導者欄

通信設備の一部を見学しましたが、分かっていただけでしたか。平尾台中継所の役割は、貴方の書いたとおりです。

副長鶴田

社内には、様々な通信システムがありますが、それらを実際に見て、使ってみて、どのように活用されているかを知ってもらいました。

課長永田

6月5日（金）業務日誌

今日も電子通信課に行きました。松崎さんと一ノ宮さんが皿倉山に連れて行きました。皿倉山の上に中継所があります。あの中継所はパラボラが六つあります。パラボラで西谷、新小倉、若松、若杉山、嘉穂と本州から情報をもらって、他の所に送ります。下の部屋には、無線機があります。そして、停電があったら、エンジンは自動的に動いて、無線機に電気を送ります。

6月8日（月）業務日誌

今日は、総務課で勉強しました。総務課は系列が二つあります。私は今日、庶務系列の仕事の説明を聞きました。例えば、会社の式典の準備をしたり、非常災害があれば社員を支援したり、会社の文書を管理したり、株式業務をしたり、ボランティア活動を支援したりします。会社のボランティアは一カ月間に2、3回スポーツのコーチをしたり、アフリカに洋服を送ったり、身振り言語を教えたりします。そして、全部の課はお金を寄付します。北九州ボランティアサークルはお金を集めてお年寄りに車椅子や車など買って寄付します。最後は会社の株の説明を聞きました。庶務系列は一年間に2回会社の情報を株主に送ります。そして、社員は株式を購入したければ総務課に行って、自社株式会員の手続きが出来ます。この系列は配当金支払関係も手続きします。

指導者欄

総務課（庶務）は、社内的な業務が多く、今回の研修は、これを中心に行いました。研修開始当初は、研修疲れのせいか、あまり興味を示してもらえなかったようですが、少しずつ会話する内に、質問を受けるようになった。株式業務に関して一つ誤解してほしくないのは、事業報告書や配当金の支払い通知所等は当社が委託している、中央信託銀行（株）が行っています。

担当川上

総務課（庶務）は、社内外の様々な業務を行っております。その中の一つがボランティア活動の支援です。ボランティアはあくまでも個人が自発的に行うものであり、会社としては、側面から支援を行っています。

副長中村

そのため、社員のボランティア活動の意識高揚のために、後援会等を実施しています。

課長香田

6月11日（木）業務日誌

昨日の午後は一日中立地事務所で勉強しました。午後、野鳥の会議に行きました。今は、会社の環境月間です。そのため、社員は色々な環境に関係がある活動をしています。今日の午前中、秋永さんと緒方さんが立地事務所の仕事の内容を説明してくれました。この課は系列が三つあります。計画系列は本店に計画の報告書を出したり、変電所と鉄塔と電線がある土地を管理したりしています。建設1は新しい鉄塔と電線のルートを計画し、建設2はある鉄塔を増強する計画をします。計画系列の大事な仕事は電線の下に住んでいる人に補償する事です。そして、よくお客さまの家に行って、鉄塔の説明をします。

指導者欄

立地事務所の業務は、我が社のような設備産業で公共事業者においては不可欠な業務であり、その内容は多岐にわたりますが、今回概要を勉強しました。公務部門での現地研修のことを思い浮かべながら、聞いて頂けると良かったと思います。我々も、人に教えることの難しさを感じながら研修しましたが、アマンダさんの日誌を読んで、「理解してくれている」と安心しました。今回の経験を今後の交渉力向上に役立てたいと思います。ご苦労さまでした。

担当緒方

業務の都合で半日しかお付き合い出来ないで、たいへん残念に思っております。我々の仕事は主に電気設備等を建設するための、役割を確保する所であり、お客様と接する第一線の現場です。地元の方の理解をいただくことはもちろん地域との環境調和等も充分考えてやっていきたいと考えております。ご苦勞様でした。

副長樋口

6月12日（金）業務日誌

今日また立地事務所で勉強しました。午前中は環境月間のために社員30人くらいと一緒に日明工場に行って、説明を聞いて、見学しました。日明では北九州のゴミをリサイクルして、電気を作ります。そして、缶と瓶と家具をリサイクルしています。午後は矢幡さんが建設1の大切な仕事を説明してくれました。日本の土地は法律で守られています。だから、鉄塔のルートを計画するのは難しいです。建設1はこの法律を研修しています。例えば、おいしい米を作る所で工事は出来ません。そして、川の上に電線を作ると、大きい船と漁夫のために鉄塔を高く作って、電線は川を直接交差しないといけません。会社は鉄塔を作りたかったら、必ず政府に許可をもらわないといけません。

指導者欄

ヨーロッパでは、国から一般の人々に至るまで、環境問題に対して非常に意識が高く様々な取り組みを行っていると聞いています。北九州支店の環境月間行事に参加して頂きましたが、今回、アマンダさんはどんなことを感じたのでしょうか。また、日本の電力業界は、環境に調和しつつ、電力需要に役立てていくという大きな課題を持っています。我々が、イギリスの現状について話を聞く機会があれば良かったと思います。研修ご苦勞さまでした。

担当緒方

業務日誌のとおり、理解の素晴らしさに、感服しました。たまたま、環境月間の行事に参加出来たことは、日本の研修の思い出の一つになったことでしょう。今回の研修で得たものを他の留学生にも教え伝えて下さい。

課長栗田

6月15日（月）業務日誌

今日一日中、経理課で勉強しました。午前中廣田副長と西川さんが資材業務を説明してくれました。資材系列は物品と工事と運送の請求表を管理しています。他の課から請求書がきます。

資材は他の会社から選んで、値段を交渉します。そして、会社に物品注文書を送って、契約します。請求した課は物品検収所を2枚もらって、一枚持ちます。もう一枚は物品をもらったら、経理課に出して、経理課は支払います。午後は実際の仕事を見ました。西川さんが色々な文書を見せて説明しました。そして、経理課のオンラインシステムを見せてもらいました。情報は全部コンピュータに入力します。そして、よく使う物に関して、例えばガソリンと文房具、他の会社と1年間の単価の契約があります。

指導者欄

主に購買契約について勉強しましたが、資材業務ではコストの低減を図ることが、何より重要なことであることを忘れないで下さい。

担当西川

日本の電気は、停電時間、周波数の安定など、諸外国と比較して高い品質を保っています。資材部門は資機材の発注や在庫（ストック）の効率的運用によるコスト低減によって、品質の保持と料金の低減化に貢献していることを理解して頂きたいと思います。

副長廣田

3. 結び

以下の指導者欄を見てもらいたい。

指導者欄

これから3カ月間、日本の企業、九州電力のことについて、いろいろなことを勉強して下さい。できるかぎりのバックアップをしていきたいと思います。

課長脇山

指導者欄

いろいろな点に興味をもって、分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

指導者欄

日本の電力会社は、地域社会の産業、経済と大きく関わっています。イギリスではどうですか。

課長脇山

指導者欄

給与については、1時間程説明をしましたが、賃金の内容と通勤費、旅費、保険料と主な部分をだいたい理解してもらえたと思います。

担当川野

九州電力での研修がスタートして1週間がたちましたが、どういう印象をもちましたか？

脇山課長

指導者欄

深夜電力の利用は、電力会社の大きな経営課題です。電気を安く、お客さまに提供できるよう、社員は、電気温水器の長所と短所を勉強し、販売活動に取り組んでいます。

担当西村

難しい話ばかりで、大変ですけど頑張ってください。

指導者欄

日本企業に特徴的な福利厚生の充実といった難しい話で、大変だったと思います。こういった機会を利用して日本の企業のことをもっともっと勉強していただければと思います。

担当舟木

日本の社会福祉は不十分な面が多く、企業に期待されている点が多くあります。

課長脇山

指導者欄

九州電力は「人材」の企業理念達成が原動力であると考え、社員を教育することをとても重要だと考えています。社員はふつう60才まで働き続けるので、教育の成果は、社員本人だけでなく会社にとっても非常に大きいと思います。

担当川野

イギリスでは、社員教育は、どういうことをやっているか、もしわかれば教えて下さい。

課長脇山

指導者欄

人事異動（転勤）は社員に意欲を持たせ、能力を開発（育成）するために行います。また、人事異動を行うためには、人事考課と本人申告書が重要な情報源となります。

担当西村

日本とイギリスでは会社のシステムに大きな違いがあると思います。その違いを勉強して下さい。

課長脇山

指導者欄

日本企業では、会議を開催して意思決定をすることが多いという特徴があります。イギリスではどうでしょうか。九州電力は、社員の健康管理のためにいろいろな組織を編成しております。

担当舟木

日本では、法律によって企業の安全・健康管理体制づくりが義務づけられています。イギリスではどうですか？

課長脇山

指導者欄

イギリスではエネルギーを輸出していますが、日本はエネルギーのほとんどを輸入に頼っています。そのため、エネルギーの有効活用には最大の努力を行っています。

課長脇山

指導者欄

3日間のエネ効課の研修おつかれさまでした。日本での電気の使われ方について、そのために九州電力は、何をしようとしているかをわかっていただけたと思います。この3日間のうちの少しでもあなたの記憶に残してください。

担当小倉

国によって、色々なエネルギー政策が検討されています。特に資源も持たない国においては小資源を有効に活用するように努力しています。諸外国と比較し、勉強して下さい。

副長井上

3日間の研修おつかれさまでした。専門用語が多く理解しにくかったと思います。イギリスのエネルギー情勢と比べてみて下さい。

課長市田

指導者欄

わずか1日半の研修でしたが、広報課の業務についてご理解いただけたでしょうか。どのような企業にも、自社の活動を外へ向かってPRしていく広報部門というのはあると思われますが、アマンダさんの今後の進路の参考となれば幸いです。

指導者欄

当日は雨天の為、光量が足らず、太陽光発電量はほぼ0に等しかったため、アマンダさんには能率的(?)には見えなかったのでしょうか？天気が良ければ効率的に発電しますよ。PFBCは、大きいコンパクトな点に私も驚きました。

担当若林

指導者欄

一般の人には送電線と配電線の区別があまりつきません。今回の研修で送電線の役割について理解してもらえば十分です。

副長渡辺

指導者欄

送電線は、建設するのも大変ですが、建設した送電線が役割を十分果たせるようにメンテナンスしていくことが送電課の重要な仕事であり、それによってお客さまが安定した電気を使えることを理解して下さい。

副長渡辺

指導者欄

当社の幅広い業務の中の1つですがかなり専門的だったため理解に苦しんだと思われます。何か1つでも記憶に残っていれば幸いです。

担当大和

研修内容がむずかし過ぎて、理解しにくかったと思います。電気の大切さを認識し電気を上手

に使い省エネに努めて下さい。

副長関

5/18~20

短い時間に良く勉強し理解していると思います。興味を持つことが大切です。これからも頑張ってください。

課長中原

指導者欄

技術的な話が多かったのですが、多くの日本人と接し、日本を好きになっていただきたい。

担当春武

説明に専門用語が多く理解に苦労したのではないかと反省しています。日本での勉強が母国で何かの役に立てば良いと思います。

副長藤村

指導者欄

技術部門は難しい専門用語が多く出てくるので話を聞くだけでも大変だと思います。アマンダの日本語は聞く、話す、どちらも上手で大変驚いています。

副長北島

今日は、総制初日でしたので、電力を安全に送るという仕事について概要説明を行いました。適宜イギリスの生活と日本の生活との違いなどについて情報交換したりしながら相互理解をはかりました。日本語も上手で、総制業務というややわかりにくい内容でも大丈夫と感じました。

指導者欄

この業務日誌を見て、漢字が多いことに驚いています。日本語を専攻したのも何かの縁ですから、さらに実践を踏んで頑張ってください。

副長北島

今日は、電力を安全に送るという電力会社の基本技術のひとつを理解するために、停電現象について基礎的なことをじっくり勉強しました。基礎がかなり理解できたようで、シミュレータ訓練も非常に興味を持ち、知識も向上しました。有意義な1日でした。

所長原田

指導者欄

今日は、今まで机上で学習したことを目で確認するために現場に出ました。現場学習は各課所でも実施していますが、運用サイドである総制から見た見学なので、いろいろと勉強になったと思います。

副長北島

電気の基本について、理解が進んだあとの見学であったため、実際のごく普通の送変電設備を多く見て、電力会社の系統運用の理解が深まったようでした。3日間、意欲を持って勉強しており、好感が持てました。

所長原田

指導者欄

まずは九州電力の日本の電気事業における位置づけとして、設備、収益、発電量等の指標、当社の供給エリアを説明し、次に「企業は人なり」というところから社内研修、教育の概要、支店と営業所組織を説明しました。人・物・金・情報面での英国との比較をすると新たな発見があると思います。

副長大津

今回の企業研修では、配電部門の業務概要、及び世界に誇れる新技術の一端として配電作業ロボットや自動制御システム等勉強してもらいました。現在、当社は欧州仕様のロボットを造るために技術供与を行っており、いずれイギリスでも配電課の作業にロボットが使われるだろうと思っています。その時は、当社の企業研修であつかった配電作業ロボットを思い出して下さい。

副長佐田

研修内容が技術系の内容になってしまい、理解しづかったことと思います。配電部門においては、ロボット工法の他見学に行かれた総合自動化システム、導入初期にある総合機械化等新技術の開発に力を入れて取り組んでいます。経営環境が厳しい中、新技術の開発に対する意見は様々ありますが、このような状況であるからこそその必要ありと考えます。

副長安詮院

指導者欄

気象条件等からくる季節間、昼夜間の電気の使われ方の違いを平滑化（負荷平準化）することや、エネルギー自給率の低い日本特有のエネルギー事情に対するエネルギー利用の効率化が日本の電力会社の大きな課題となっています。その中にあって、今回前原営業所で研修した負荷集中制御は日本のエネルギー問題を解決するための国家的プロジェクトとして位置づけられています。英文のパンフレットやビデオが手助けとなって難しい技術内容も少しは理解してもらえたかと思います。電気が少しは身近になりましたか。

副長大津

指導者欄

配電部門の研修は、専門用語や配電独特の概念が多く、日本語での説明がきちんと伝わったかどうか心配していましたが、ポイントは理解していただいたようでうれしく思います。

担当田中

どの程度興味を持って聴かれたか解りませんが、話（説明）よりも、図面管理システムや配電オンライン、自動制御システムを直接見る方が、良かったらしく目の輝いていたように思う。相互に言葉が通じないことで苦しい事を経験した。

課長宮川

2日半という短い時間の中で、専門外の技術の話ばかりで大変だったと思います。しかしながら日誌を見せてもらおうとポイントを理解してもらっており、熱心に研修されたものと思います。これからがんばって下さい。

課長畠山

住宅用の電気について、日本ではリミッター（電流制御器）を取付け、電気の流れる量を制限することと、そのリミッターの大きさにより基本料金をいただくことを説明しました。（イギリスにはないシステム）

担当林

営業課は、お客様と接することが多いため、お客様に失礼にならないようCS（Customer Satisfaction）運動に力を入れています。

副長近藤

1951年から日本の電力会社は9社（沖縄除く）の体制となっています。リミッターは5社（関西、中国、四国除く）で採用しています。これは、契約を守ってもらうとともに省エネにも役立っています。また使うほど料金が高くなるのも省エネに十分役立っています。

課長奈良

指導者欄

日本でも、イギリスと同じように、お客さまが電気を買う相手を選ぶことができる時代が間もなく来ると予想されます。その時、今までどおり、当社から電気を買っていただくためにも、お客さまに当社に対する良いイメージを持っていただくよう努める必要があります。

担当川原

イリスの活動もその一つです。地道な活動ですが、少しずつ効果が出てきていると思います。アマンダさんは当日の研修で、イリスの目的をよく理解されたと思います。又、料理教室で、同席した女性に、当社に対するイメージがイリスを利用する前と後でどう変わったかを聞くなど、積極的に研修に取り組まれているのを見て、好感が持てました。

副長二宮

イリスは当社の大事なPR施設です。クッキング、カルチャー等を通じ電気を身近に感じていただくとともに、その大切さもPRしています。

課長奈良

指導者欄

土木系列の仕事を少し分かって、もらえたようですね。

副長辛島

建築の系列は、建物の設計・工事管理と維持管理を行っています。

副長清田

指導者欄

今日は、大雨で、発電所の見学は大変でしたね。又、土木設備を見る事ができなくて残念でした。

副長辛島

建物の色については、多くの人のいろいろな意見があります。その色を決める一つの手法として5色配色モデルを使います。豊前発電所や荻田発電所の色はどのように感じましたか。

副長清田

指導者欄

二日半お疲れ様でした。

副長辛島

土木建築課の仕事に興味がありましたら、また来て下さい。

副長清田

土木・建築という業務は電力会社でも3~4%の人員で構成しており一面では特殊な業務でわかりにくかったと思いますが、三日間見聞したことを少しでも今後に活かして下さい。

課長壬谷

電力会社の電子通信システムのうちマイクロ波無線と光ファイバー通信の概要は理解できたようですので、私も安心しました。

副長鶴田

専門技術的な内容で理解しにくかったと思いますが熱心に説明を聞いていました。

課長永田

指導者欄

通信設備の一部を見学しましたが、分かっていただけましたか。平尾台中継所の役割は、貴方の書いたとおりです。

副長鶴田

社内には、様々な通信システムがありますが、それらを実際に見て、使ってみて、どのように活用されているかを知ってもらいました。

課長永田

6月5日（金）業務日誌

今日も電子通信課に行きました。松崎さんと一ノ宮さんが皿倉山に連れて行きました。皿倉山の上に中継所があります。あの中継所はパラボラが六つあります。パラボラで西谷、新小倉、若松、若杉山、嘉穂と本州から情報をもらって、他の所に送ります。下の部屋には、無線機があります。そして、停電があったら、エンジンは自動的に動いて、無線機に電気を送ります。

指導者欄

総務課（庶務）は、社内的な業務が多く、今回の研修は、これを中心に行いました。研修開始当初は、研修疲れのせいか、あまり興味を示してもらえなかったようですが、少しずつ会話する内に、質問を受けるようになった。株式業務に関して一つ誤解してほしくないのは、事業報告書や配当金の支払い通知所等は当社が委託している、中央信託銀行（株）が行っています。

担当川上

総務課（庶務）は、社内外の様々な業務を行っております。その中の一つがボランティア活動の支援です。ボランティアはあくまでも個人が自発的に行うものであり、会社としては、側面から支援を行っています。

副長中村

そのため、社員のボランティア活動の意識高揚のために、後援会等を実施しています。

課長香田

指導者欄

立地事務所の業務は、我が社のような設備産業で公共事業者においては不可欠な業務であり、その内容は多岐にわたりますが、今回概要を勉強しました。公務部門での現地研修のことを思い浮かべながら、聞いて頂けると良かったと思います。我々も、人に教えることの難しさを感じながら研修しましたが、アマンダさんの日誌を読んで、「理解してくれている」と安心しました。今回の経験を今後の交渉力向上に役立てたいと思います。ご苦労さまでした。

担当緒方

業務の都合で半日しかお付き合い出来ないで、たいへん残念に思っております。我々の仕事は主に電気設備等を建設するための、役割を確保する所であり、お客様と接する第一線の現場です。地元の方の理解をいただくことはもちろん地域との環境調和等も充分考えてやっていきます。

いと考えております。ご苦労様でした。

副長樋口

たかったら、必ず政府に許可をもらわないといけません。

指導者欄

ヨーロッパでは、国から一般の人々に至るまで、環境問題に対して非常に意識が高く様々な取り組みを行っていると聞いています。北九州支店の環境月間行事に参加して頂きましたが、今回、アマンダさんはどんなことを感じたのでしょうか。また、日本の電力業界は、環境に調和しつつ、電力需要に応じていくという大きな課題を持っています。我々が、イギリスの現状について話を聞く機会があれば良かったと思います。研修ご苦労さまでした。

担当緒方

業務日誌のとおり、理解の素晴らしさに、感服しました。たまたま、環境月間の行事に参加出来たことは、日本の研修の思い出の一つになったことでしょう。今回の研修で得たものを他の留学生にも教え伝えて下さい。

課長栗田

指導者欄

主に購買契約について勉強しましたが、資材業務ではコストの低減を図ることが、何より重要なことであることを忘れないで下さい。

担当西川

日本の電気は、停電時間、周波数の安定など、諸外国と比較して高い品質を保っています。資材部門は資機材の発注や在庫（ストック）の効率的運用によるコスト低減によって、品質の保持と料金の低減化に貢献していることを理解して頂きたいと思います。

副長廣田

以上から分かるように、Aさんの企業研修日誌以上に、九州電力の指導責任者から親切丁寧に指導とコメントを書いていた。

日本企業だからこそここまで、きめ細かな指導が出来るのである。カーディフ大学生は異口同音に、日本企業の素晴らしさを訴えている。右往左往するのではなくて、やはり日本企業が

山 崎 勇 治

蓄積してきた良き伝統を守り抜くことこそが大切だと、実感する次第である。